

兵庫県下の経済動向

平成25年11月

但馬銀行
TAJIMA BANK

目 次

概 況	1
生 産	2
個 人 消 費	4
設 備 投 資	6
住 宅 投 資	8
公 共 工 事	9
貿 易	10
物 価	11
雇 用	13
信 用 保 証	15
金 融	16
倒 産	17

【概 況】

最近の県内景気は、下げ止まっており、持ち直しに向かう動きもみられている。個人消費は持ち直しに向けた動きが広がっている。また、公共投資は増加している。一方、設備投資や住宅投資は弱めとなっている。

需要面の動きをみると、個人消費は、百貨店売上高が4か月連続して前年を下回った。

乗用車販売は、普通乗用車、小型乗用車、軽乗用車、普通貨物車、軽貨物車およびバスが増加し、小型貨物車が減少したものの全体では3か月連続で前年を上回った。家電販売は、スマートフォン等が引き続き堅調であるものの、薄型テレビが減少傾向にあることから、全体としても低調に推移している。

設備投資は、非製造業が増加を見込んでいるものの、製造業は減少を見込んでおり、25年度も減少計画となっている。

住宅投資は、持家、分譲、給与が増加し、貸家が減少したが、2か月連続で前年を上回った。

公共工事請負金額は、国、独立行政法人等、兵庫県、神戸市、神戸市を除く市町村が増加したことから、6か月連続で前年を上回った。基調としては増加している。

貿易は、輸出は中国を含むアジア、米国およびEU向けが増加し、8か月連続で前年を上回った。また、輸入については10か月連続で前年を上回った。

生産活動は、鉱工業生産指数でみると、2か月ぶりに前年を上回った。

雇用関係では、有効求人倍率は前月を下回り、新規求人数は前年を上回った。

また、常用労働者数および一人当たり名目賃金は前年を下回り、所定外労働時間は前年を上回った。

金融情勢は、預金は前年を上回って推移しており、貸出は前年並みの水準で推移している。

企業倒産は、件数は前年を下回ったが、負債金額は前年を上回った。

兵庫DI及び兵庫CIから見た県内の景気動向

8月の兵庫DIは、先行指数28.6%、一致指数33.3%、遅行指数87.5%となった。

8月の兵庫CIは、先行指数77.6、一致指数89.1、遅行指数99.9となった。

兵庫DIは、先行指数が3か月連続で50%を下回り、一致指数が6か月ぶりに50%を下回った。

一方、兵庫CIは、先行指数が2か月ぶりに前月差減、一致指数は4か月ぶりに前月差減、遅行指数は4か月連続で前月差増となった。

県統計課は基調判断を「下げ止まっており、持ち直しに向かう動きもみられている。」としている。

*兵庫DIと兵庫CI・・・兵庫県内の経済指標から景気の状態を導く指数。県景気変動指数(兵庫DI)は50%が好不況の別れ目で、景気の拡張、後退などを判断する。県景気総合指数(兵庫CI)は景気変動の大きさを測定し、指数の前月との差の大小をみる。

資料：兵庫県企画管理部管理局統計課

【生 産】

9月の県鉱工業生産指数(平成17年=100、季節調整済、速報)は91.3、前月比3.5%増加。出荷指数は89.1、同2.2%増加。在庫指数は131.9、同2.6%増加。在庫率は156.5、同4.5%減少。生産指数は2か月ぶりに上昇、出荷指数は3か月ぶりに上昇、在庫指数は2か月ぶりに上昇した。

前年同月比(原指数)では、生産が1.0%減で19か月連続、出荷は1.3%減と20か月連続で低下した。また在庫は0.3%減と9か月連続で低下した。

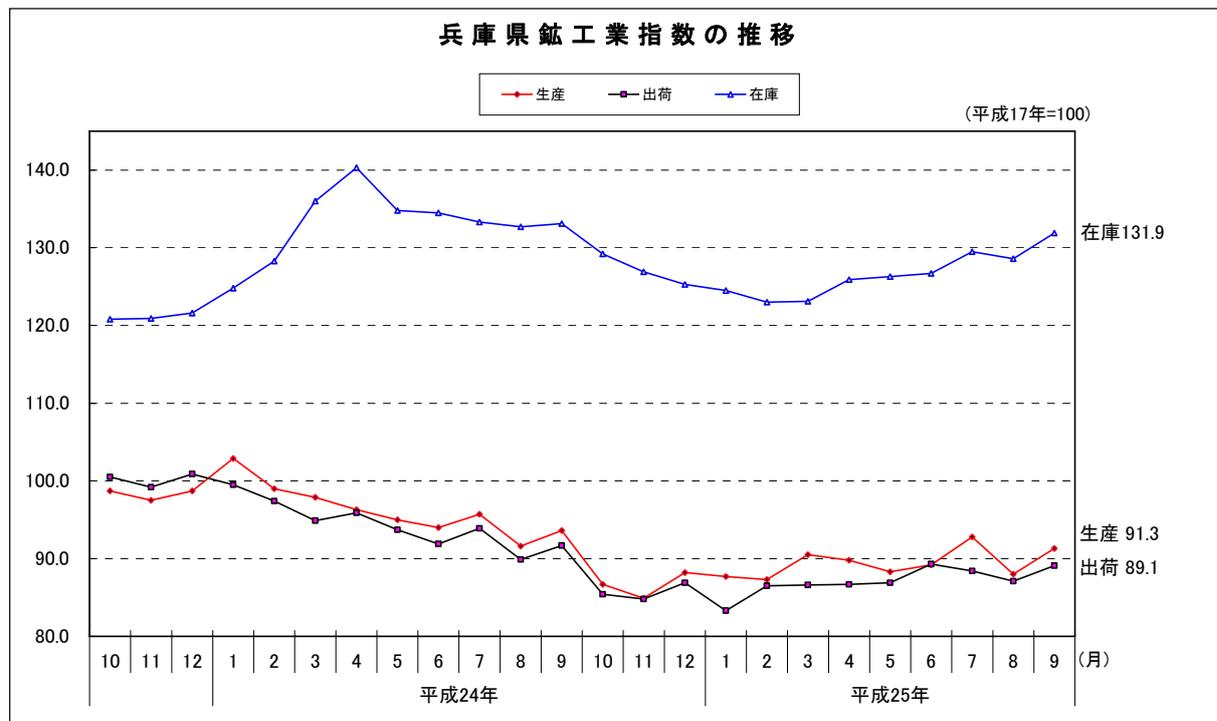
主要業種の生産動向を対前月比で見ると、一般用蒸気タービン等の「一般機械興行」が16.5%、医薬品等の「化学工業」が14.6%、リチウムイオン蓄電池等の「電気機械工業」が5.5%、ガス温風暖房機等の「金属製品工業」が5.4%、銑鉄等の「鉄鋼業」が4.8%、旅客車等の「輸送機械工業」が2.8%各々上昇し、搬送装置等の「情報通信機械工業」が11.9%、清酒等の「食料品」が6.0%、スイッチング電源等の「電子デバイス工業」が2.3%各々下落した。

県統計課は、基調判断を「緩やかな持ち直しの動きがみられる」とした。

9月の兵庫県鉱工業指数 (速報、平成17年=100)

区 分	季節調整 済指数	対前月比 増減 (%)	原 指 数	
				対前年同月 比増減 (%)
生 産	91.3	3.5	94.3	▲ 1.0
出 荷	89.1	2.2	93.4	▲ 1.3
在 庫	131.9	2.6	130.6	▲ 0.3
在 庫 率	156.5	▲ 4.5	144.1	0.6

資料：兵庫県企画管理部管理局統計課



9月の県内鉱工業生産指数(主要9業種の動向)

(速報、平成17年=100)

業 種	指 数	対前月比 増減 %	指数の上昇又は低下に寄与した品目	
鉄 鋼	94.1	4.8	上昇	銑鉄、粗鋼、特殊鋼熱間圧延鋼材、鋼半製品
			低下	普通鋼冷延広幅帯鋼、特殊鋼熱間鋼管、普通鋼鋼管、普通鋼鋼帯
金属製品	84.3	5.4	上昇	ガス温風暖房機、機械刃物、ガス給湯器、橋りょう
			低下	PC鋼より線、鋼管製管継手、粉末や金製機械材料、ドラム缶
一般機械	96.1	16.5	上昇	一般用蒸気タービン、熱交換器、プレイバックロボット、プレス用金型
			低下	反応用機器、混合機・かくはん機・粉碎機、C(W)BN工具、ショベル系掘削機械
電気機械	135.1	5.5	上昇	リチウムイオン蓄電池、非標準油入り変圧器(10000kVA以上)、HIDランプ、太陽電池モジュール
			低下	電力変換装置、工業用計測制御機器、超音波応用装置、開閉制御装置
情報通信 機械	96.6	▲ 11.9	上昇	搬送装置、カーオーディオ、基地局通信装置、テレメータ・テレコントロール
			低下	携帯電話、カーナビゲーション、陸上移動通信装置(携帯電話以外)、レーダ装置
電子部品 デバイス	71.5	▲ 2.3	上昇	スイッチング電源、トランス(コイル含む)、アクティブ型液晶素子(7.7インチ未満)
			低下	電界効果型トランジスタ、PDPモジュール、線形半導体集積回路、シリコントランジスタ(1W以上)
輸送機械	74.2	2.8	上昇	旅客車、船用ディーゼル機関、塗装ボデー、二輪自動車(125ml超)
			低下	駆動伝導・操縦装置部品、鋼船、機関部品、シャシー・車体部品
化 学	88.6	14.6	上昇	医薬品、化粧品、アクリル酸エステル、無水酢酸
			低下	電気絶縁塗料、酸化チタン、メタクリル酸エステル(モノマー)、溶剤系合成樹脂塗料
食 料 品	94.7	▲ 6.0	上昇	清酒、冷凍調理食品、パン類、アイスクリーム
			低下	塩、しょうゆ、肉製品、精米

資料：兵庫県企画県民部統計課

【個人消費】『百貨店売上』

兵庫県百貨店協会がまとめた10月の県内百貨店売上高は、前年同月比5.8%減の158億79百万円で、4か月連続で減少した。暑い日が続き、秋冬向けの衣料品が低調だった。

神戸地区は大丸新長田店が1月末に閉店した影響もあり、6.3%減。10月に入っても気温が下がらなかったことが響き、売り上げに占める割合の大きい衣料品が苦戦した。高額品は引き続き好調という。

姫路地区は3.6%減。JR駅前に開業した「piole（ピオレ）」の影響が続いている。

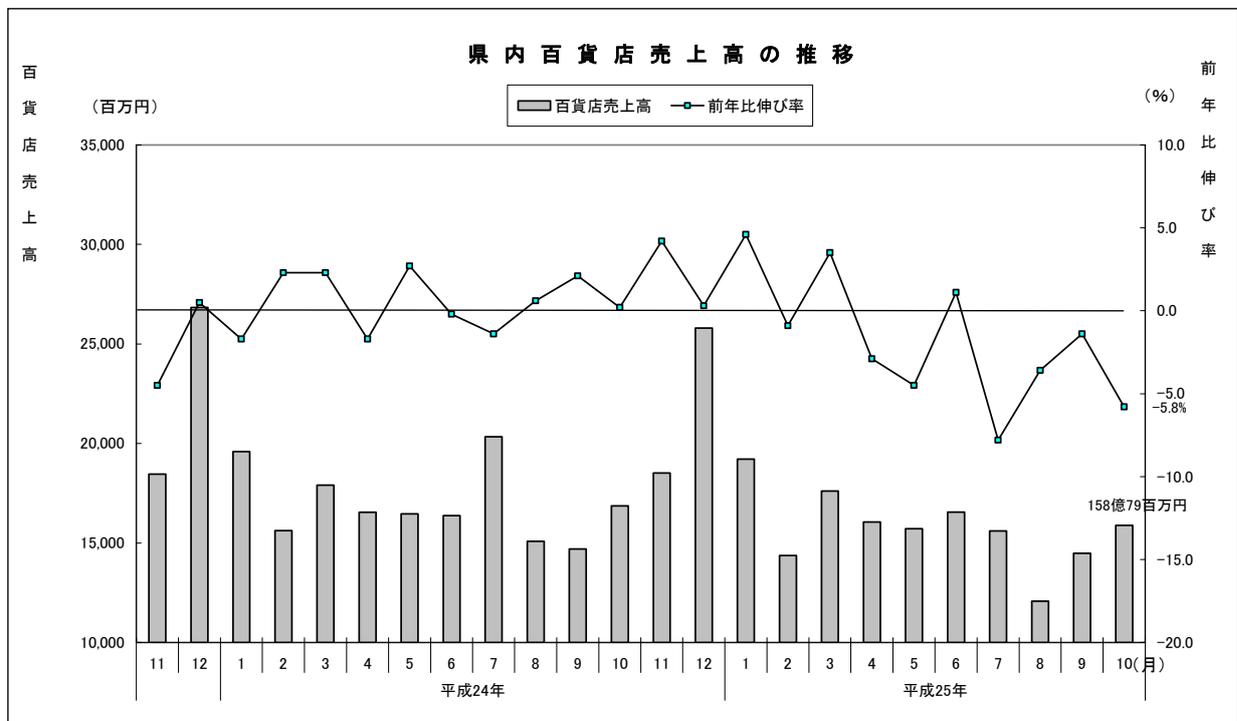
10月の県内百貨店売上高

品目	神戸	姫路	合計
紳士服・洋品	672(▲18.8)	181(▲4.6)	853(▲16.1)
婦人服・洋品	4,191(▲7.6)	661(▲7.8)	4,852(▲7.7)
子供服・洋品	339(▲4.1)	98(▲5.6)	437(▲4.4)
身の回り品	1,360(▲10.0)	260(▲1.0)	1,620(▲8.7)
家庭用品	581(9.7)	165(5.9)	746(6.5)
食料品	3,534(▲5.0)	773(▲3.6)	4,308(▲4.5)
雑貨	1,692(9.7)	391(1.1)	2,084(▲2.0)
その他	682(▲4.0)	292(▲13.8)	975(▲3.9)
計	13,055(▲6.3)	2,824(▲3.6)	15,879(▲5.8)

* 単位百万円、未満切捨て。()内は前年同月比伸び率%

資料：兵庫県百貨店協会

※ 神戸地区には芦屋・宝塚、姫路地区には加古川を含む。



【個人消費】『新車登録』

県内10月の乗用車新車登録台数は13,869台、前年同月比21.2%増と3か月連続で前年同月の実績を上回った。

3月の乗用車新車登録を車種別にみると、普通乗用車は4,817台(前年同月比27.4%増)、小型乗用車は4,648台(同16.1%増)、軽乗用車は4,404台(同20.5%増)、乗用車合計で13,869台(同14.1%増)となった。

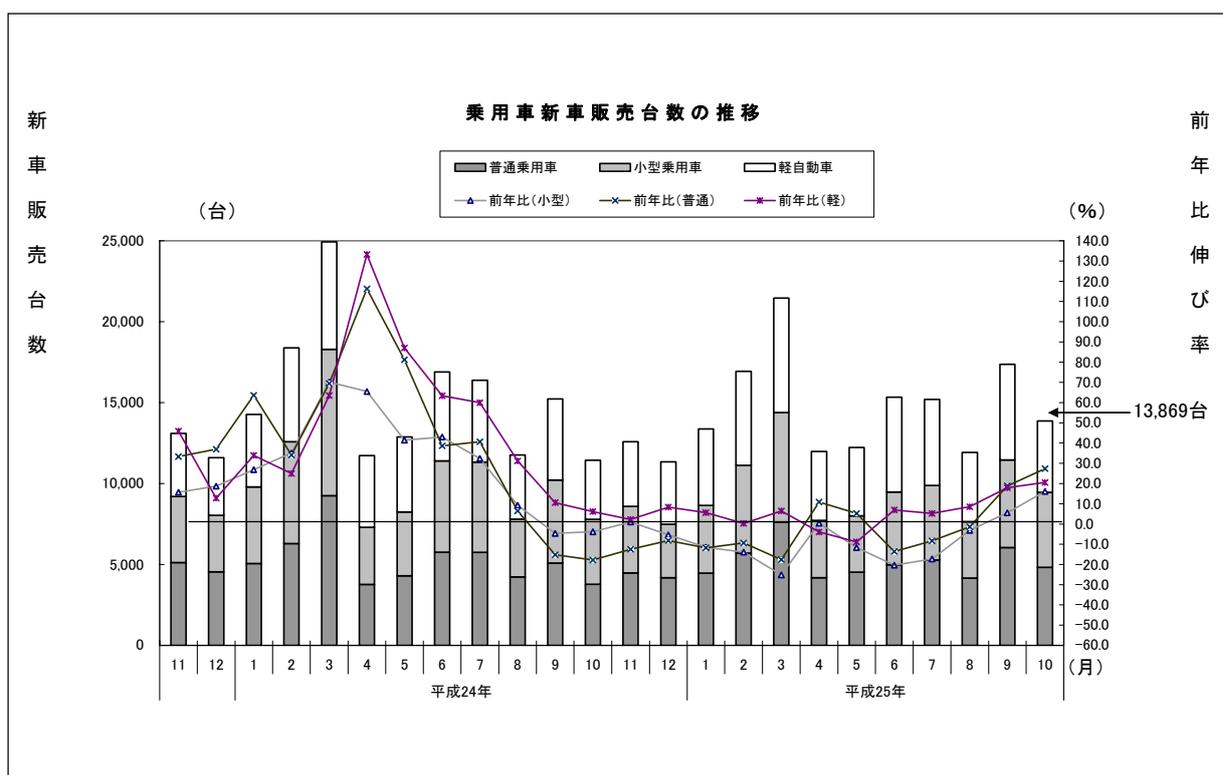
また貨物車等では、普通貨物車は282台(同40.3%増)、小型貨物車577台(同4.8%減)、軽貨物車は1,257台(同3.2%増)、バスは28台(同12.0%増)となった。

10月の新車販売(登録)台数

(単位：台、%)

車種	兵庫県	前年同月比	全国	前年同月比
普通乗用車	4,817	27.4	109,169	27.4
小型乗用車	4,648	16.1	123,753	11.7
軽乗用車	4,404	20.5	121,552	18.2
乗用車合計	13,869	21.2	354,474	18.4
普通貨物車	282	40.3	11,315	18.8
小型貨物車	577	▲ 4.8	19,532	3.8
軽貨物車	1,257	3.2	35,508	14.8
貨物車合計	2,116	4.5	66,355	12.0
バス	28	12.0	818	12.4
登録車総計	16,013	18.7	421,647	17.3

資料：自販連兵庫県支部、兵庫県軽自動車協会



【設備投資】

内閣府が11月13日に発表した機械受注統計によると、平成25年9月実績は以下のとおり。

最近の機械受注総額(季節調整値)の動向をみると、25年8月前月比4.5%増の後、25年9月は同13.2%増の2兆3,999億円となった。

このうち民間設備投資の先行指標である「船舶・電力を除く民需」は、8月前月比5.4%増の後、9月は同2.1%減の8,021億円となった。

内訳をみると、製造業が同4.1%増の3,345億円、非製造業(船舶・電力を除く)は同7.0%減の4,567億円であった。

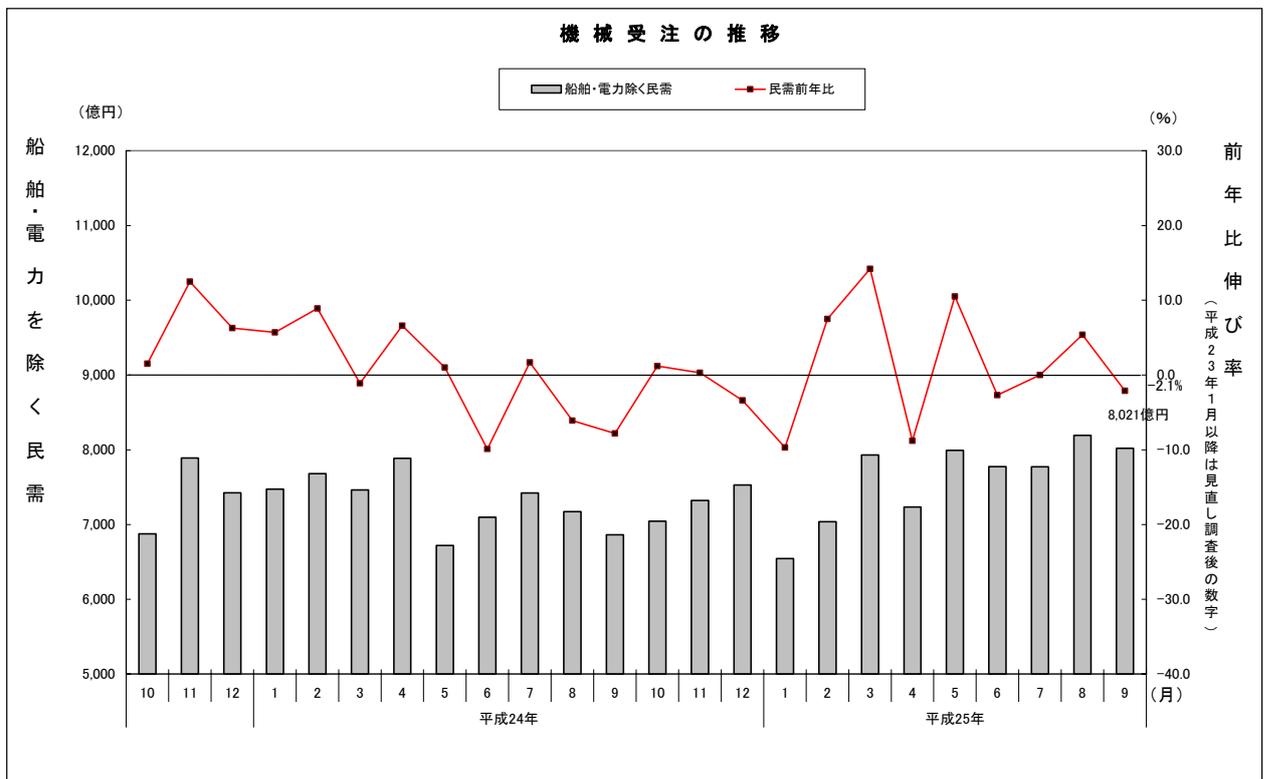
製造業民需受注を業種別でみると、前月比で増加したのは15業種中、パルプ・紙・紙加工品(150.3%増)、情報通機械(33.7%増)、「その他輸送機械」(32.3%増)、化学工業(15.2%増)、精密機械(13.9%増)、一般機械(11.6%増)等の10業種で、石油製品・石炭製品(49.5%減)、造船業(33.8%減)、自動車・同付属品(7.6%減)等の5業種は減少となった。

一方、非製造業では、前月比で増加したのは12業種中、鉱業・採石業・砂利採取業(35.0%増)、リース業(16.7%増)、卸売業・小売業(11.4%増)、電力業(7.1%増)等の6業種で、不動産業(37.8%減)、金融・保険業(27.8%減)、建設業(26.7%減)、農林漁業(26.2%減)の6業種は減少となった。

兵庫県下においては、2013年度設備投資額は、製造業が減少を見込んでいるものの、非製造業は増加を見込んでおり、全産業では減少計画となっている。

*全国企業短期経済観測調査(短観)結果 2013年9月 ——兵庫県——

設備投資計画：全産業前年度比▲3.5% (製造業▲6.6%、非製造業+9.3%)



機械受注統計 (平成25年9月分)

	24年 10~12月 実績	25年 1~3月 実績	4~6月 実績	7~9月 見通し	10~12月 見通し	25年 6月 実績	7月 実績	8月 実績	9月 実績
受注総額	56379 (3.7) [-9.7]	60,410 (7.1) [-5.3]	62,406 (3.3) [4.7]	58,820 (-5.7) [8.0]	63,878 (-2.5) [13.8]	19,443 (-14.3) [2.7]	20,291 (4.4) [5.3]	21,203 (4.5) [25.9]	23,999 (13.2) [30.3]
民 需	25,341 (-0.7) [-5.6]	25,477 (0.5) [-2.0]	26,754 (5.0) [2.5]	24,699 (-7.7) [-3.8]	26,589 (-5.3) [9.4]	8,888 (-6.0) [4.8]	9,192 (3.4) [3.6]	9,483 (3.2) [17.2]	9,402 (-0.9) [9.7]
〃 (Ex 船・電)	21,546 (-0.8) [-0.8]	21,539 (-0.0) [-4.6]	22,999 (6.8) [6.4]	21,772 (-5.3) [0.1]	23,481 (-2.1) [11.9]	7,774 (-2.7) [4.9]	7,772 (-0.0) [6.5]	8,193 (5.4) [10.3]	8,021 (-2.1) [11.4]
製造業	8,550 (-5.3) [-11.1]	8,407 (-1.7) [-12.1]	8,875 (5.6) [-4.2]	8,525 (-3.9) [-3.5]	9,804 (0.6) [18.3]	3,042 (2.4) [2.4]	3,187 (4.8) [-2.0]	3,213 (0.8) [8.7]	3,345 (4.1) [17.3]
非製造業 (Ex 船・電)	13,491 (5.6) [7.4]	13,072 (-3.1) [2.8]	14,701 (12.5) [14.1]	13,580 (-7.6) [4.6]	13,610 (-3.5) [7.6]	4,623 (-17.5) [6.6]	4,624 (0.0) [13.0]	4,911 (6.2) [11.6]	4,567 (-0.7) [8.0]
官 公 需	6,942 (-3.6) [-1.5]	6,949 (0.1) [-6.9]	8,668 (24.7) [7.4]	8,595 (-0.8) [-17.1]	8132 (-13.6) [34.8]	2,584 (-28.2) [0.7]	2,917 (12.9) [23.5]	2,674 (-8.3) [17.1]	3,822 (42.9) [47.9]
外 需	21,246 (3.2) [-16.5]	23,670 (11.4) [-8.8]	24,837 (4.9) [7.8]	22,437 (-9.7) [18.9]	26,199 (-4.9) [14.7]	7,553 (-16.7) [0.1]	7,660 (1.4) [4.4]	9,377 (22.4) [41.8]	10,510 (12.1) [57.4]
代 理 店	2,648 (-2.6) [-1.8]	3,000 (13.3) [4.2]	2,643 (-11.9) [-4.1]	2,945 (11.4) [9.3]	3,034 (6.4) [12.6]	978 (6.6) [5.3]	949 (-3.0) [-4.4]	972 (2.4) [10.3]	93.1 (-4.2) [9.9]

資料：内閣府経済社会総合研究所

- 備考
1. 季節調整系列は個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値とは一致しない。
 2. 四半期は合計額、()内は対前期(月)増減率、[]内は原系列による対前年同期(月)増減率。

【住宅投資】

県内9月の新設住宅着工戸数は、総数で2,759戸(前年同月比8.9%増)となり、持家、賃家、給与住宅が増加し、分譲住宅が減少したが、全体では2か月連続で前年を上回った。また、前月比では24戸の増加となった。

9月の新設住宅着工戸数

(速報、単位：戸、%)

	兵庫県	前年同月比	全国	前年同月比
持家系・持家	1,045	14.7	31,379	11.2
・分譲住宅	983	3.7	23,042	8.5
貸家系・貸家	664	▲ 18.3	29,548	7.0
・給与住宅	43	59.3	374	▲ 16.5
総数	2,759	8.9	84,343	8.8

資料：兵庫県住宅計画課、国土交通省

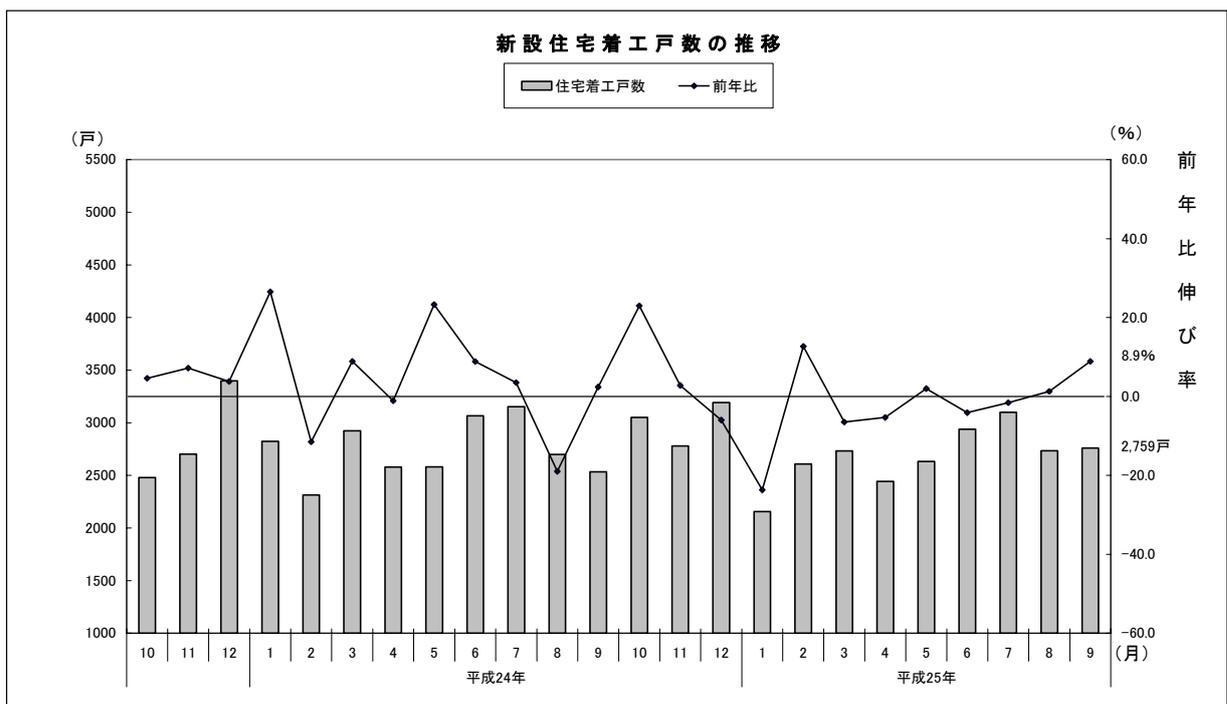
9月の地域別着工戸数

(戸)

地域	神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路	計
戸数	585	874	222	328	106	336	145	54	25	25	2759
前月比	-11.9	33.6	-40.8	-17.2	-19.7	12.4	107.1	31.7	-60.9	110.0	0.9

資料：兵庫県住宅計画課

平成25年9月の新設住宅着工累計は、総数で2,759戸、前年同期比225戸の増加となった。利用関係別では「持家」が1,041戸(前年同期比9.1%増)、「貸家」が938戸(同36.7%増)、「分譲住宅」が765戸(同12.8%減)、「給与住宅」が15戸(同34.8%減)となった。



【公共工事】

10月の県内公共工事動向を西日本建設業保証(株)兵庫支店の前払金保証取扱状況でみると、件数は617件で前年同月比4.8%の増加、請負金額は364億円で同35.3%の増加となり、金額ベースでは6か月連続前年同月を上回った。

発注者別(金額ベース)にみると、「神戸市を除く市町」前年同月比139.9%、「独立行政法人等」同97.4%、「国」同16.2%、「兵庫県」同7.0%、「神戸市」同3.8%が増加となり、「その他団体」は同67.4%減少となり、前年同月を上回った。

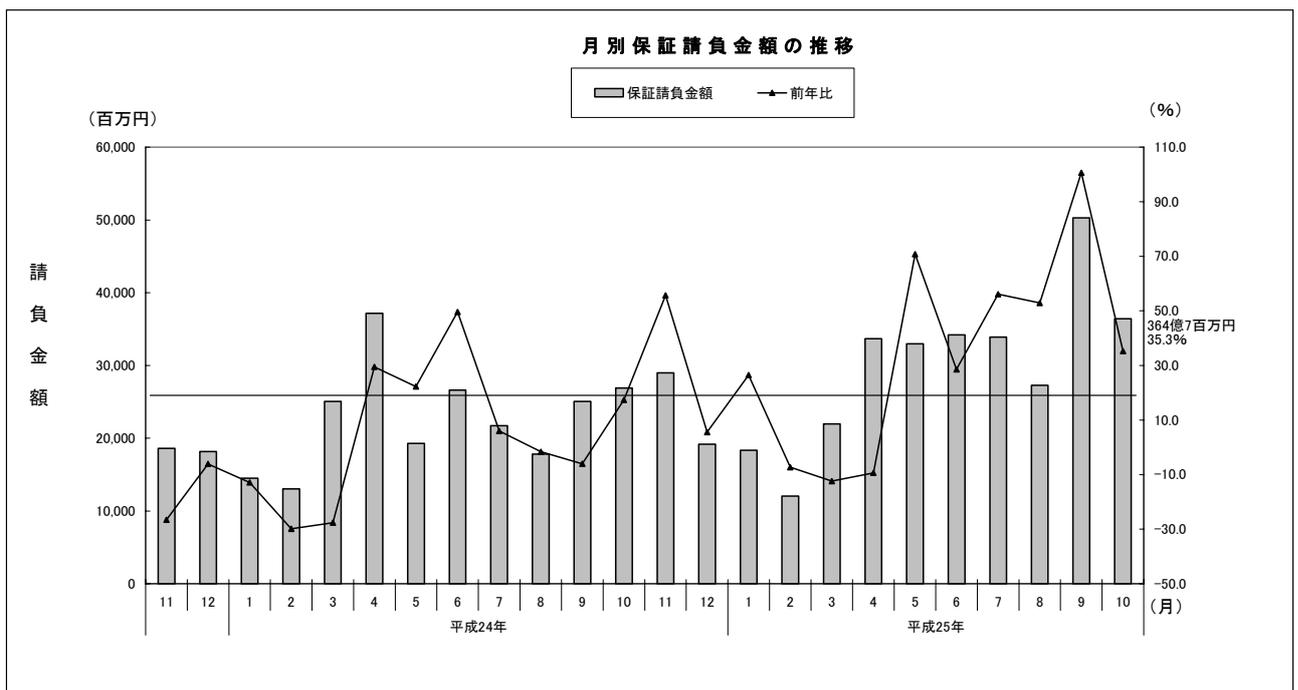
地域別(金額ベース)では、阪神南(同321.0%)、阪神北(同83.0%)、北播磨(同71.0%)、東播磨(同41.8%)、但馬(同37.0%)、丹波(同10.6%)、中播磨(同1.1%)、淡路(同▲61.7%)、神戸市(同▲13.4%)、西播磨(同▲8.9%)で増加となった。

9月の公共工事発注状況

金額単位未満切捨て、()内は前年同月比伸び率増減：%

発注者	件数	金額(百万円)	大型工事明細(5億円以上)
国	28(▲12.5)	2,070(16.2)	
独立行政法人等	14(▲12.5)	2,210(97.4)	
兵庫県	219(4.4)	9,967(7.0)	県住第18号県営伊丹野間住第2期建築工事
神戸市	57(16.3)	3,754(3.8)	25C6-004西部処理場ガス機械設備工事
神戸市を除く市町	267(13.6)	17,364(139.9)	大島小学校北棟改築等工事、園田中学校東棟改築等工事、立花小学校校舎棟改築等工事、塚口中学校北西棟改築等工事、名和小学校北棟改築等工事
その他の団体	32(14.3)	1,339(▲67.4)	農基幹農道第4062-5-001号鷺沢菅野地区トンネル工事、地改(国)第5001-1-003号(国)178号浜坂道路大庭大橋上部工事、病企第1号県立こども病院建築工事、但馬こうのとり周産期医療センターほか整備事業(建築工事)
合計	617(4.8)	36,407(35.3)	

資料：西日本建設業保証(株)



【貿易】

平成25年10月の神戸港貿易概況(速報)によると、輸出入総額は7,149億円、前年同月比12.6%の増加で、総額ベースで8か月連続増額となった。輸出は、金属加工機械などが減少したものの、プラスチックなどが増加した。一方、輸入は、有機化合物などが減少したものの、輸送用機器などが増加した。

輸出は4,507億円(前年同月比11.8%増)と8か月連続で増加した。

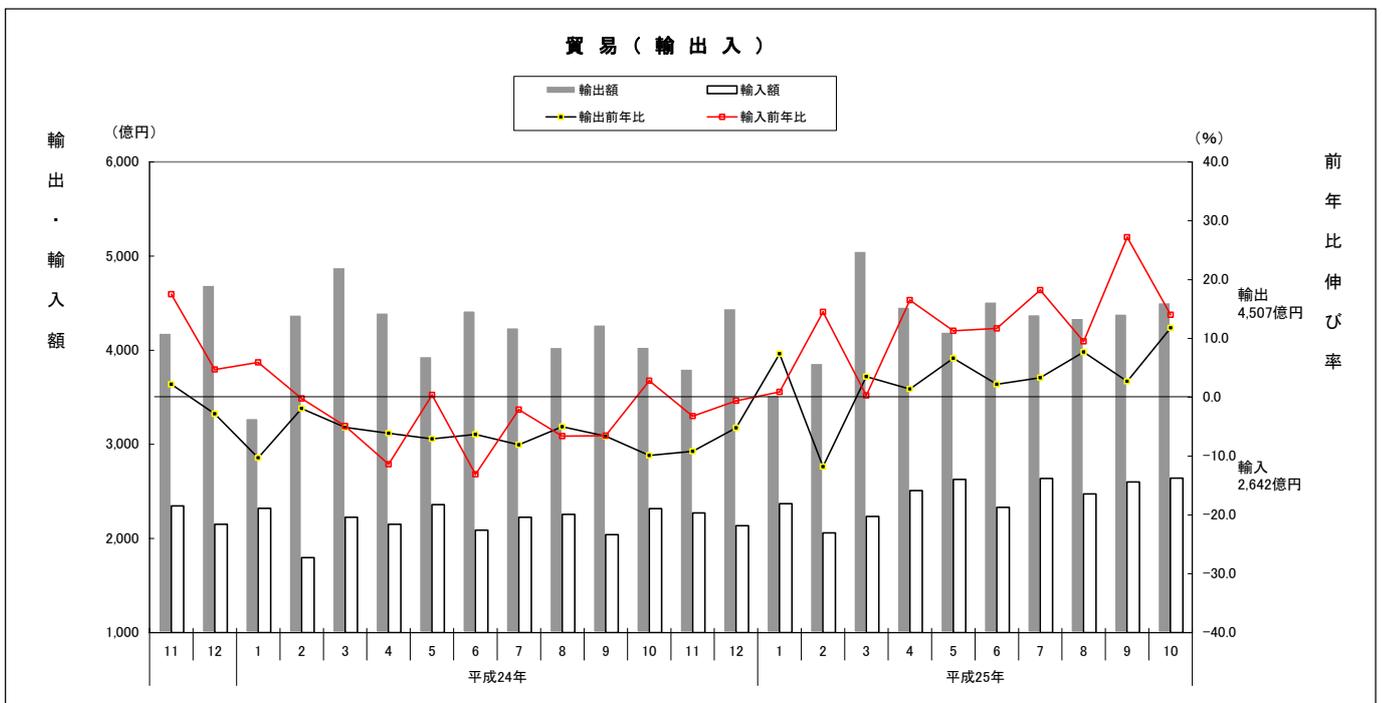
主要品目では、建設用・鉱山用機械(前年同月比31.6%増、3ヶ月ぶりにプラス)、プラスチック(同24.9%増、10か月連続プラス)、原動機(同12.7%増、2か月連続プラス)、織物用糸及び繊維製品(前年同月比11.4%増、8か月連続プラス)が増加した。

主要地域(国)別では、EU(同31.1%増、5か月連続プラス)、米国(同12.8%増、16か月連続プラス)、中国(同7.8%増、4か月連続プラス)、アジア(中国含む)(同6.8%増、4か月連続プラス)が増加した。

輸入は2,642億円(前年同月比14.0%増)と10か月連続で増加した。

主要品目では、非鉄金属(前年同月比35.8%増、2か月連続プラス)が増加し、有機化合物(同32.5%減、7か月ぶりにマイナス)、衣類および同付属品(前年同月比1.7%減、7か月振りにマイナス)、たばこ(同3.2%減、6か月連続マイナス)が減少した。

主要地域(国)別では、EU(前年同月比26.7%増、11か月連続プラス)、中国(同14.3%増、7か月連続プラス)、アジア(中国含む)(同13.8%増、7か月連続プラス)、米国(同1.7%増、7か月連続プラス)が増加した。



【物 価】『消費者物価』

10月の神戸市消費者物価指数は、総合指数が100.7(平成22年=100)となり、前月比は0.2%上昇、前年同月比は、1.2%上昇となった。生鮮食品を除く総合指数は100.9となり、前月比は1.1%上昇、前年同月比は0.2%上昇となった。また、食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数は99.7となり、前月比は0.4%、前年同月比0.2%上昇となった。

前月からの動きを見ると、他の諸雑費などの値上がりにより「諸雑費」が2.6%、通信などの値上がりにより「交通・通信」が0.4%、教養娯楽サービスなどの値上がりにより「教養娯楽」が0.4%、他の被服類などの値上がりにより「被服及び履物」が0.3%、家庭用耐久財などの値上がりにより「家具・家事用品」が0.4%、保健医療用品・器具などの値上がりにより「保健医療」が0.1%、それぞれ上昇した結果、総合では0.2%の上昇となった。

10月の神戸市消費者物価指数(速報)

	総合	食料	住居	光熱水道	家具家事用品	被服及履物	保健医療	交通通信	教育	教養娯楽	諸雑費	生鮮食品を除く総合	食料・エネルギーを除く総合
指数	100.7	98.7	101.4	115.8	96.3	102.8	97.5	101.0	101.0	94.5	94.5	100.9	99.7
前月比	0.2	0.0	0.0	0.0	0.4	0.3	0.1	0.4	0.0	0.4	2.6	0.4	0.4
前年同月比	1.2	1.6	-0.5	8.7	-0.1	-0.4	-0.9	2.2	0.8	-0.8	3.2	1.1	0.2

(注)平成22年=100

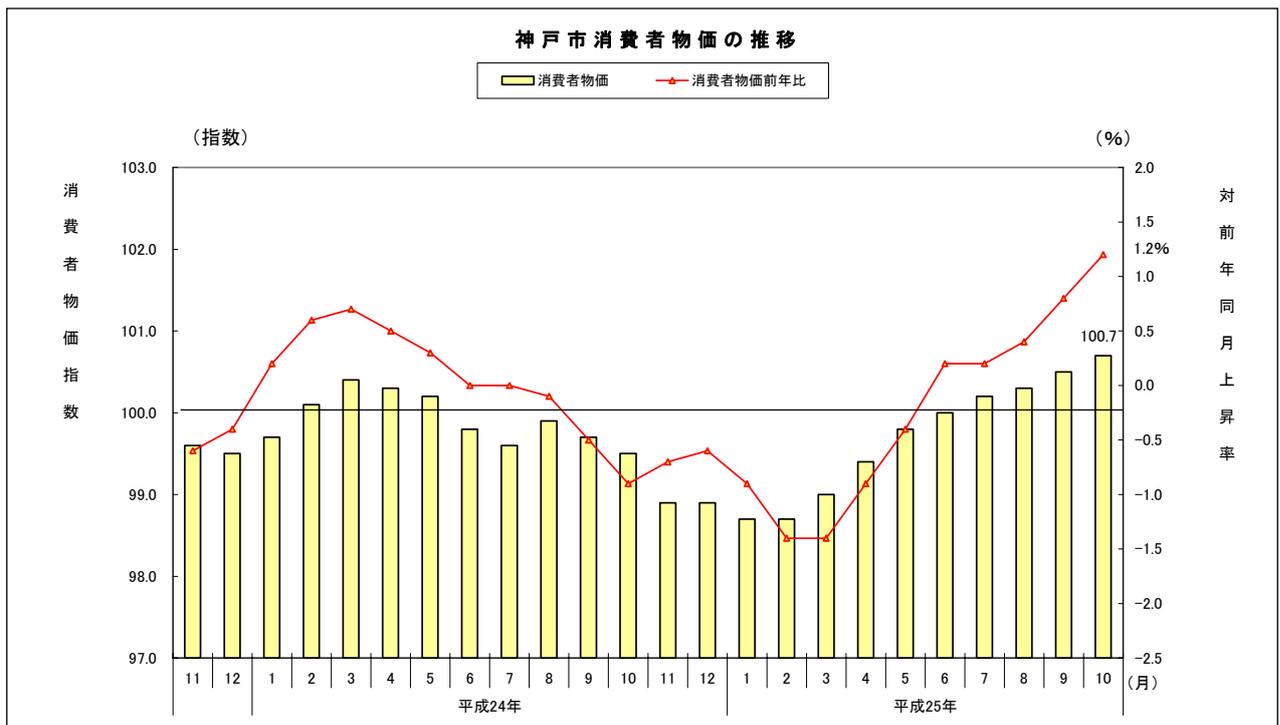
資料：兵庫県統計課

○対前月比値上がりした主な品目

- 他の諸雑費 (+ 5.8%) ・ ・ ・ 傷害保険料
- 通信 (+ 2.8%) ・ ・ ・ 携帯電話機

○対前月比値下がりした主な品目

- 肉類 (▲ 3.0%) ・ ・ ・ 牛肉(国産ロース)、鶏肉、ハム
- 家賃 (▲ 0.1%) ・ ・ ・ 公営家賃



【物 価】『企業物価』

日本銀行調査統計局が11月13日に発表した、企業物価指数(速報)による2013年10月の企業物価指数は次のとおり。

10月の企業物価指数

(速報、2010年=100)

	指 数	前月比(%)	前年同月比(%)
国内企業物価	102.5	-0.1	2.5
輸 出 物 価	106.4	-0.7	12.2
輸 入 物 価	122.6	12.2	16.5

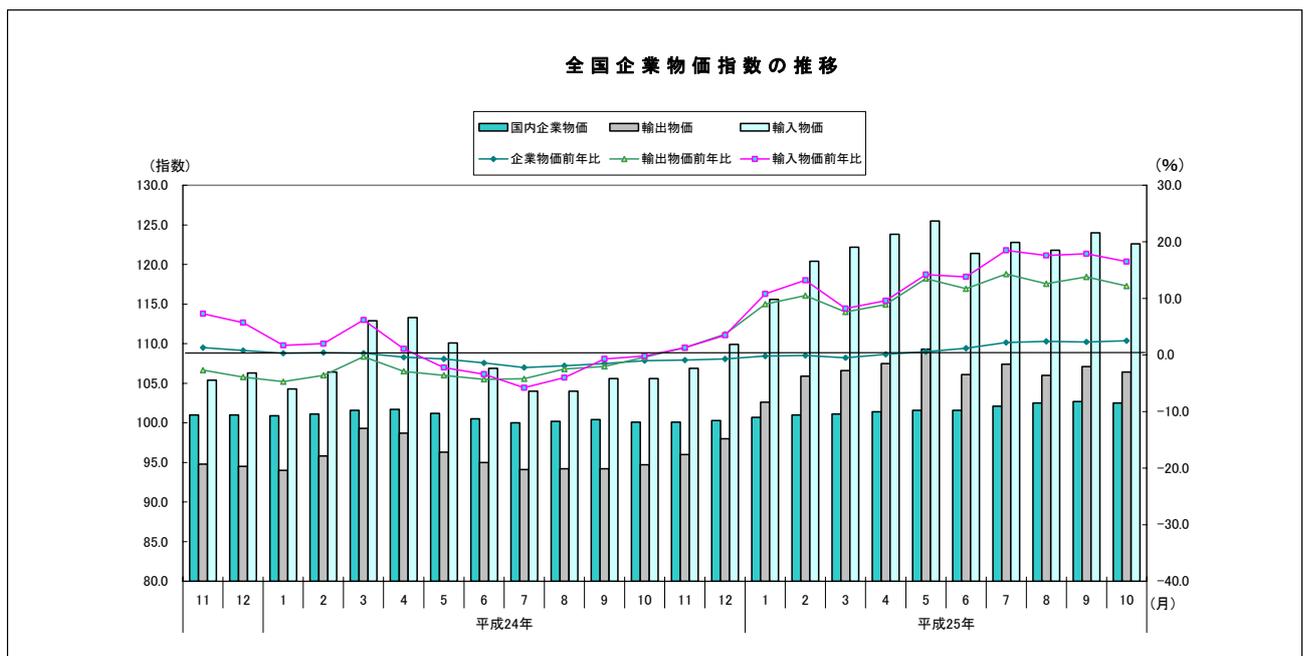
資料：日本銀行調査統計局

国内企業物価は、電力・都市ガス・水道（前期比▲3.5%＜業務用高圧電力など＞）が下落したが、スクラップ類（同+1.5%＜鉄くず＞）、石油・石炭製品（前月比+0.9%＜軽油など＞）、鉄鋼（同+0.9%＜鉄鋼切断品など＞）等が上昇し、全体では前月比0.1%の減少となった。

10月は前年同月比2.5%上回った。上昇は7ヶ月連続。マンションや住宅の売れ行きが好調で、原油や原材料価格の上昇分が販売価格に転嫁されたことによる。一方、新米が出荷された玄米や精米など、農林水産物の価格は下がった。

輸出物価は、繊維品（前月比▲3.1%＜合繊長繊維など＞）、輸送用機器（同▲0.6%＜自動車用内燃機関など＞）、はん用・生産用・業務用機器（同▲0.5%＜カメラ用レンズ・交換レンズなど＞）、化学製品（同▲0.5%＜塩化ビニルモノマーなど＞）等が下落し、円ベースでは前月比0.7%の減少（前年同月比+12.2%）となった。

輸入物価は、金属・同製品（同▲2.7%＜鉄鉱石など＞）、石油・石炭・天然ガス（同▲1.1%＜ナフサなど＞）、木材・同製品（前月比▲1.3%＜合板など＞）、輸送用機器（同▲1.1%＜普通乗用車＞）等が下落し、円ベースでは前月比1.0%の下落（前年同月比+16.5%）となった。



【雇 用】

(1) 求人状況

県内9月の新規求人数(全数)は、27,710人(前年同月比0.3%増)で、3か月連続して前年を上回った。また、月間有効求人数(全数)は74,493人(同5.3%増)で41か月連続して前年を上回った。

雇用形態別(新規求人)にみると、一般常用では前年同月比3.4%増で3か月連続して前年を上回り、パートタイム(常用的パート+臨時的パート)については同1.3%減で2か月ぶりに前年を下回った。また臨時・季節では同9.0%減で2か月ぶりに前年を下回った。

さらに、新規求人を主要産業別にみると、建設業(前年同月比1.1%増)、卸売業、小売業(同5.5%増)、生活関連サービス業、娯楽業(同1.4%増)、医療、福祉(同5.2%増)は前年を上回り、製造業(同6.3%減)、情報通信業(同19.3%減)、運輸業、郵便業(同11.9%減)、学術研究、専門・技術サービス業(同2.0%減)、宿泊業、飲食サービス業(同1.9%減)、サービス業(同3.6%減)は前年を下回った。

(2) 求職状況

9月の新規求職申込件数(全数)は、22,335件(前年同月比1.0%減)で、2か月連続して前年を下回った。また、月間有効求職者数(全数)は94,980人(同4.9%減)で40か月連続して前年を下回った。

雇用形態別(新規求職)にみると、一般常用では前年同月比.6%減で2か月連続して前年を下回り、パートタイム(常用的パート+臨時的パート)では同0.2%増で2か月ぶりに前年を上回った。また、臨時・季節については、前年同月比14.5%減で2か月ぶりに前年を下回った。

さらに、新規常用求職者(パートを除く)を就業・不就業の態様別にみると、在職者は前年同月比8.0%増で2ヶ月ぶり、自己都合離職者は同2.1%増で2か月ぶりに増加した。事業主都合離職者は同10.2%減で8か月連続、自営・他は同11.4%減で28か月連続、無業者は同9.4%減で21か月連続して前年を下回った。

なお、雇用保険失業給付の受給者実人員は、25,285人(前年同月比8.4%減)で、8か月連続して前年を下回った。

(3) 求人倍率状況

9月の求人倍率(季節調整値)は、新規求人倍率が1.15倍(前月比0.09ポイント減)で前月を下回り、有効求人倍率については0.76倍(前月比0.02ポイント減)で前月を下回った。

(4) 失業者の状況

9月の全国の完全失業率(季節調整値)は4.0%、完全失業者数(原数値)は258万人(前年同月比17万人減)となった。また、近畿の完全失業率(原数値)は4.1%(前年同月比0.6ポイント減)で、完全失業者数(原数値)は42万人(前年同月比5万人減)となった。

産業別新規求人数の状況

(新規学卒者を除きパートタイムを含む)

	全 産 業	建 設 業	製 造 業	情 報 通 信 業	運 輸 ・ 郵 便 業	卸 売 ・ 小 売 業	金 融 ・ 保 険 業	不 動 産 ・ 物 品 賃 貸 業	学 術 研 究 ・ 専 門 ・ 技 術 サ ー ビ ス 業	宿 泊 ・ 飲 食 サ ー ビ ス 業	生 活 関 連 サ ー ビ ス ・ 娯 楽 業	医 療 ・ 福 祉	サ ー ビ ス 業
25年9月	27,710	2,161	3,985	310	1,447	4,267	160	522	739	1,929	1,011	6,951	3,334
前年同月比	0.3	1.1	▲6.3	▲19.3	▲11.9	5.5	▲19.6	23.1	▲2.0	▲1.9	1.4	5.2	▲3.6

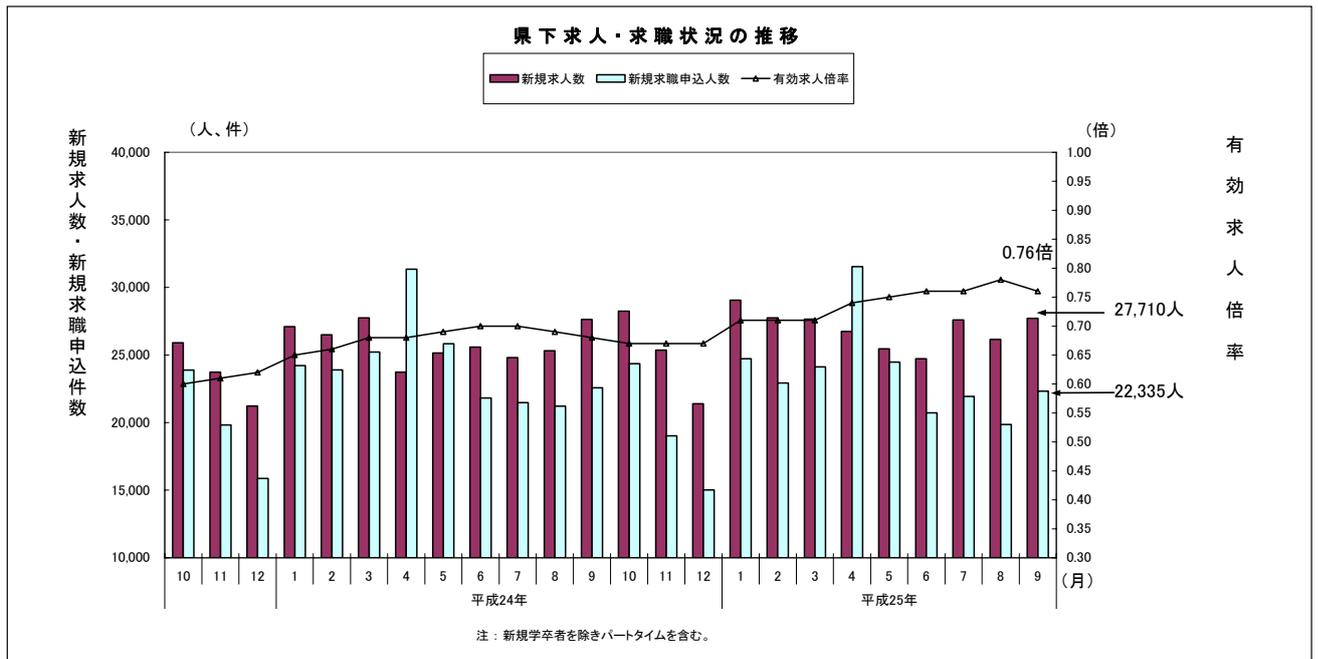
(単位：人、前年同月比増減率：%)

資料：兵庫労働局

雇 用 ・ 賃 金 の 推 移

項 目 ・ 年 月	12/10-12	12/10-12	13/1-3	13/4-6	13/7	13/8	13/9
有 効 求 人 倍 率 (季調済、倍)	0.68	0.68	0.71	0.75	0.76	0.78	0.76
新 規 求 人 数 (原数値、前年比%)	5.9	5.9	3.8	3.3	11.3	3.3	0.3
所 定 外 労 働 時 間 (規模5人以上、前年比%)	▲6.0	▲6.0	▲4.0	▲2.8	▲1.0	3.2	3.1
常 用 労 働 者 数 (規模5人以上、前年比%)	▲0.6	▲0.6	▲1.1	▲0.2	▲0.2	▲0.4	▲0.6
一 人 当 り 名 目 賃 金 (規模5人以上、前年比%)	0.0	0.0	0.1	0.9	▲2.2	▲1.7	▲0.6

資料：兵庫労働局、兵庫県企画県民部



【信用保証】

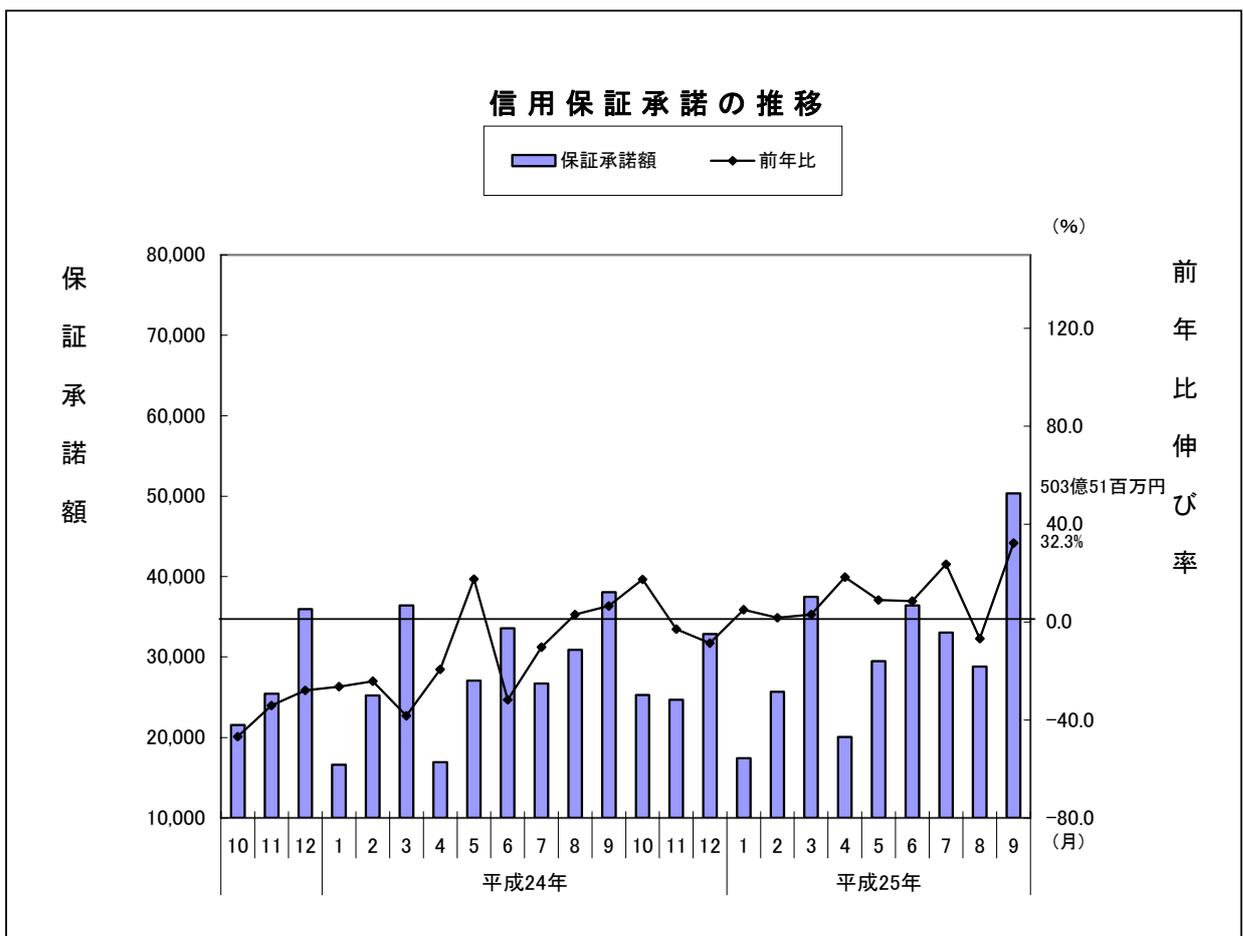
兵庫県信用保証協会による9月の保証承諾実績は、件数で2,565件(前年同月比17.2%増)、金額は503億51百万円(同32.3%増)となり、件数、金額ともに前年実績を上回った。

資金使途別では、運転資金47,914百万円(前年同月比34.7%増)、設備資金716百万円(67.1%増)となり、運転資金、設備資金ともに前年同月を上回った。

業種別(金額ベース)では、「飲食店」1,001百万円(前年同月比70.5%増)、「建設業」12,962百万円(同54.4%増)、「運送・倉庫業」2,712百万円(同46.0%増)、「不動産業」2,151百万円(前年同月比36.7%増)、「サービス業」6,039百万円(同32.7%増)、「卸売業」10,476百万円(同28.8%増)、「製造業」9,609百万円(同17.2%増)、「小売業」5,307百万円(同13.6%増)で前年同月を上回った。

一方、同月の代位弁済は、191件(前年同月比38.8%減)、25億61百万円(同27.2%減)となった。

9月末の保証債務残高は、103,366件(前年同月比6.7%減)、1兆1,878億円(同8.1%減)となった。



【金融】

9月末の県内金融機関の預貸金残高(日本銀行神戸支店調べ)は以下の通り。

(単位：億円、%)

	預 金	前年同月比	貸 出	前年同月比
都 市 銀 行 等	145,511	2.4	55,001	▲ 1.7
地 方 銀 行	25,219	3.5	21,704	5.5
第 二 地 方 銀 行	32,279	2.3	20,315	3.7
信 用 金 庫	80,416	0.8	37,602	▲ 1.3
そ の 他	17,831	2.7	17,756	2.6
計	301,256	2.1	152,378	0.4

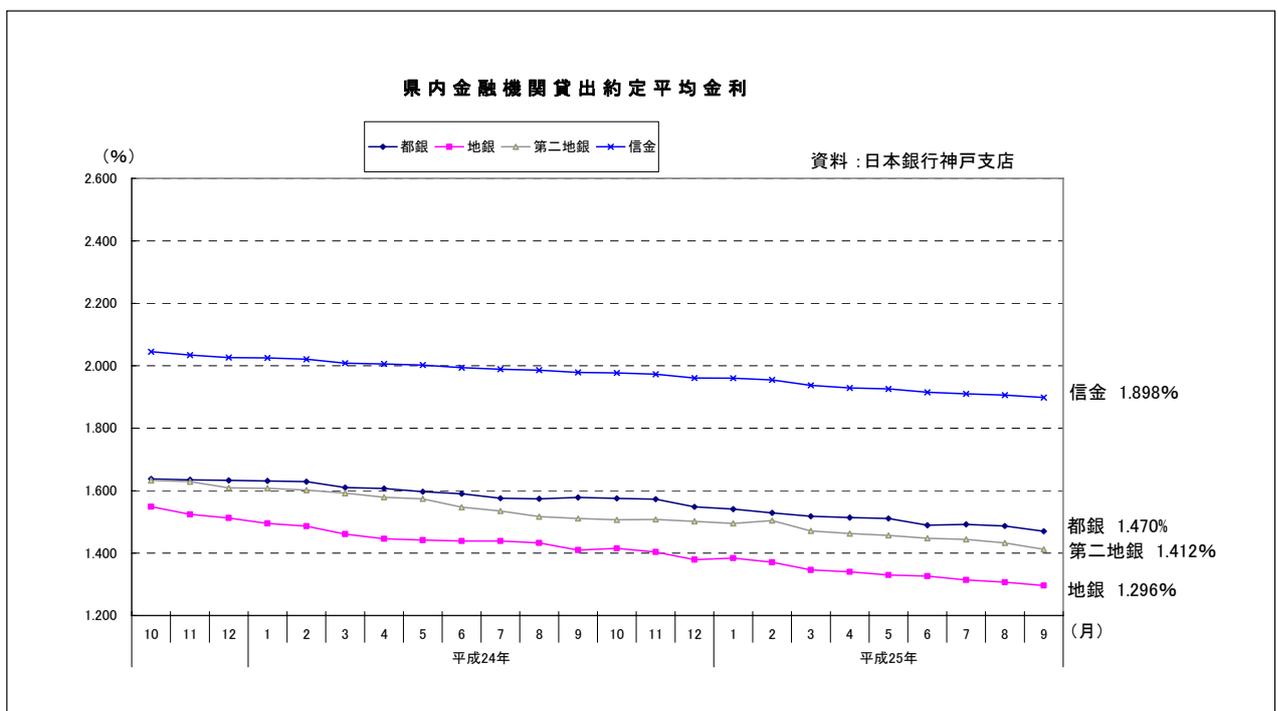
・都銀等＝都市銀行、信託銀行、新生銀行、シティバンク銀行の計。

・その他＝信用組合、労働金庫、商工中金、国民公庫、中小公庫の計。ただし、預金は国民公庫、中小公庫を除く。

9月の預金は、前年を上回って推移している。(前年比+2.1%)

9月の貸出は、前年並みの水準で推移している。(前年比+0.4%)

9月の貸出約定平均金利(ストックベース)は、緩やかに低下している(9月末水準 1.583%、前月比▲0.015%ポイント)。



【倒産】

県内10月の企業倒産(負債総額1千万円以上、東京商工リサーチ神戸支店)は49件で前年同月比5.76%の減少、負債総額は47億24百万円で同14.77%の増加となった。

倒産件数は、2か月ぶりに減少となった。前年同月比では3件(5.7%)の減少となった。また、10月単月では、過去10年間(平成16年以降)で最少となった(最多は平成20年の76件)。負債総額10億円以上の大型倒産が1件にとどまり、10月単月では過去10年間では2番目に少ない金額となった。

原因別(件数)では、「販売不振」を中心とする「不況型倒産」が30件(全体の61.2%)を占めた。

業種別(件数)では、「建設業」が16件(前年前月比2件増加)でトップであった。

「資本金別」では、「1千万円未満(個人企業含)」の件数が36件で、当月も小規模事業者の倒産が特徴的であった。

「産業別」では、「建設」が16件でトップ、「卸売」が8件と続いて多い。

県下の企業倒産は、本年1月から10月までの累計では455件。これは昨年と比較して65件の減少となり、過去10年間においては最少となっている。中小・零細企業などの倒産抑制に大きな効果を発揮した「中小企業金融円滑化法」は、3月をもって終了したが、4月以降件数が前年同月比増加となったのは5月と9月の2回のみで、同法終了後も企業倒産が増加に転じるといった気配は今のところない。その背景には金融機関の貸し出し姿勢に大きな変化はなく、加えて事業再生を柱とする多様な中小企業支援策等が倒産抑制に寄与していると見られる。経営の問題点を先送りし漫然と過ごしてきた企業は別として、当面の金融機関の取組姿勢に大きな変動はないとみられることから、今しばらくは企業倒産動向に大きな変動はないものと考えられる。

10月の原因別・業種別の倒産件数

(負債総額1,000万円以上)

原因別						業種別					
	当月	前月	前月比	前年	前年比		当月	前月	前月比	前年	前年比
放漫経営	6	9	-3	3	3	建設業	16	18	-2	14	2
過小資本	5	4	1	1	4	製造業	6	6	0	6	0
連鎖倒産	1	1	0	2	-1	卸売業	8	7	1	10	-2
赤字累積	7	5	2	3	4	小売業	7	5	2	5	2
販売不振	30	32	-2	41	-11	情報通信業	0	0	0	0	0
売掛金回収難	0	1	-1	1	-1	サービス業	10	13	-3	14	-4
その他	0	2	-2	1	-1	不動産・運輸業他	2	5	-3	3	-1
合計	49	54	-5	52	-3	合計	49	54	-5	52	-3

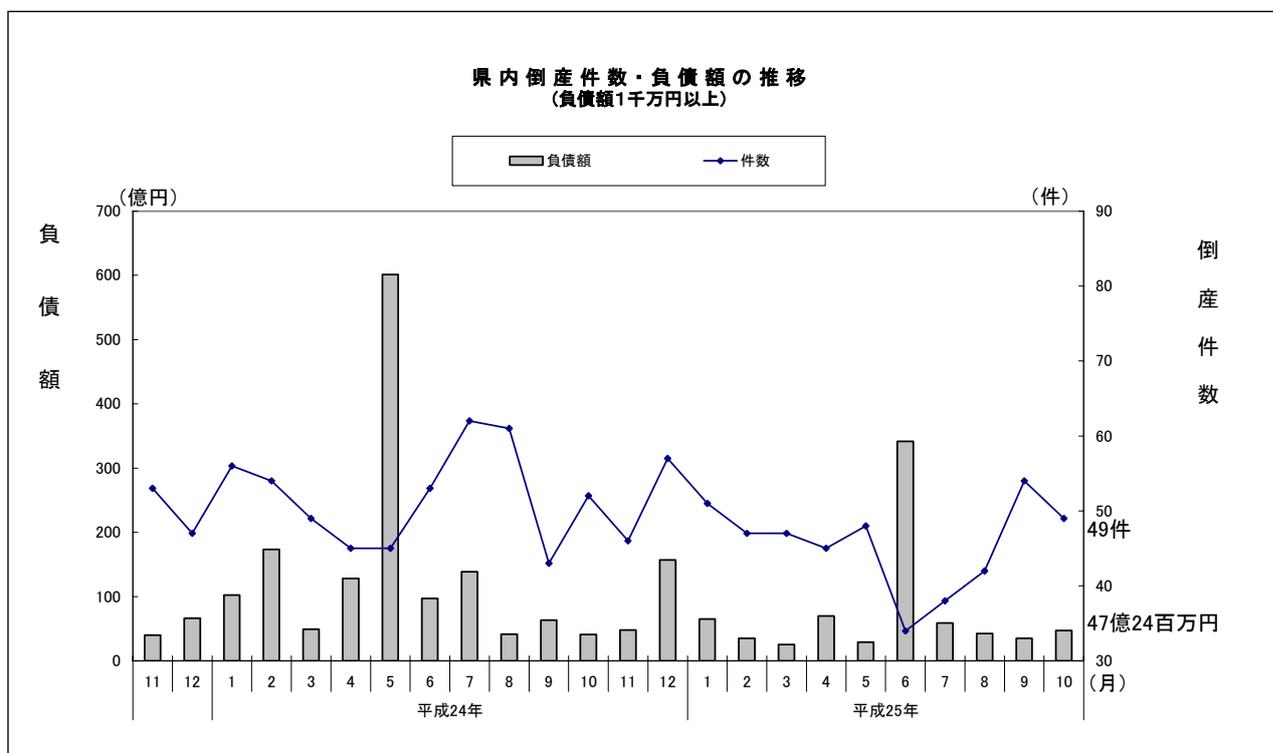
資料：東京商工リサーチ神戸支店

県下企業倒産件数地区別内訳 (負債総額 1,000 万円以上)

(単位：件数)

年 月	総 数	神 戸	阪 神	西 播	東 播	但 馬	丹 波	淡 路
19年 平均	59.3	21.3	13.6	8.3	11.3	1.8	1.3	1.7
20年 平均	62.3	20.6	19.0	7.9	10.6	1.8	1.3	1.1
21年 平均	62.6	21.6	18.5	9.8	9.1	0.9	1.1	1.6
22年 平均	60.8	20.8	20.6	9.0	6.9	1.4	0.7	1.4
23年 平均	52.2	15.2	17.2	7.9	8.7	1.3	1.0	0.9
24年 平均	51.9	16.0	19.4	5.7	6.7	1.3	0.6	2.3
25年 1月	51	13	19	8	3	5	2	1
25年 2月	47	9	21	10	6	0	1	0
25年 3月	47	16	15	5	8	0	0	3
25年 4月	45	13	18	5	7	0	0	2
25年 5月	48	19	20	2	3	2	1	1
25年 6月	34	9	9	6	9	1	0	0
25年 7月	38	17	7	7	4	2	0	1
25年 8月	42	14	14	7	6	1	0	0
25年 9月	54	19	10	11	9	3	1	1
25年 10月	49	17	11	11	4	3	2	1

資料：東京商工リサーチ神戸支店



県内主要経済指標

項目 年月	鉱工業生産指数(季節調整済)				公共工事請負金額			新設住宅着工戸数		
	兵庫県 (17年=100)		全国 (12年=100)		兵庫県		全国	兵庫県		全国
	指数	前月比	指数	前月比	金額	前年比	前年比	戸数	前年比	前年比
		%	%		(億円)	%	%	(戸)	%	%
24年 1月	102.9	3.0	95.2	1.9	145	-12.9	8.5	2,823	26.5	-1.1
2月	99.0	-1.2	94.4	-1.6	130	-29.9	16.8	2,314	-11.5	7.5
3月	97.9	-2.9	95.3	1.0	251	-27.6	8.0	2,923	8.9	5.0
4月	96.3	1.5	95.4	-0.2	372	29.5	5.4	2,579	-1.1	10.3
5月	95.0	-0.2	92.2	-3.4	193	22.3	36.7	2,581	23.3	9.3
6月	94.0	-1.3	92.6	0.4	266	49.6	14.1	3,066	8.8	-0.2
7月	95.7	1.5	91.7	-1.0	217	6.0	26.6	3,152	3.5	-9.6
8月	91.6	-4.4	90.2	-1.6	178	-1.6	19.2	2,699	-19.0	-5.5
9月	93.6	1.6	86.5	-4.1	251	-6.0	-1.9	2,534	2.4	15.5
10月	86.7	-7.5	87.9	1.6	269	17.4	28.2	3,051	23.0	25.2
11月	84.5	-2.4	86.4	-1.7	290	55.7	6.2	2,780	2.8	10.3
12月	88.3	4.4	88.8	2.4	192	5.6	15.6	3,193	-6.0	10.0
25年 1月	86.2	0.3	89.1	0.3	183	26.5	6.7	2,155	-23.7	5.0
2月	86.9	-1.3	89.6	0.6	120	-7.3	-4.8	2,607	12.7	3.0
3月	90.3	3.2	90.4	0.9	219	-12.4	-11.7	2,732	-6.5	7.3
4月	89.2	-0.8	91.9	1.7	336	-9.4	128.6	2,443	-5.3	5.8
5月	88.2	-0.9	97.7	1.9	329	70.8	24.8	2,632	2.0	14.5
6月	89.8	1.1	94.7	-3.1	342	28.6	21.7	2,939	11.7	15.3
7月	93.1	3.3	97.9	3.4	339	56.1	29.4	3,100	5.5	12.0
8月	88.2	-5.5	97.0	-0.9	272	52.9	7.9	2,735	-11.8	8.8
9月	91.3	3.5	98.3	1.3	502	100.6	29.4	2,759	8.9	19.4
10月					364	35.3	3.5			
11月										
12月										
資料	兵庫県統計課		経済産業省		西日本建設業保証(株) 兵庫支店			兵庫県住宅地課		国土交通省

* p は速報値 r は確報値

項目 年月	乗用車新車登録台数 (含む軽自動車)			百貨店売上高			輸出入状況(神戸港)			
	兵庫県		全国	兵庫県		全国 (既存店)	輸出		輸入	
	台数	前年比	前年比	金額	前年比	前年比	金額	前年比	金額	前年比
	(台)	%	%	(億円)	%	%	(億円)	%	(億円)	%
24年 1月	14,266	40.4	38.4	196	-1.7	-1.2	3,277	-10.3	2,319	5.9
2月	18,388	31.4	31.7	156	2.3	-0.5	4,375	-1.9	1,796	-0.2
3月	24,941	68.1	76.3	179	2.3	14.2	4,879	-5.1	2,225	-4.9
4月	11,728	103.0	99.5	165	-1.7	1.6	4,398	-6.1	2,151	-11.4
5月	12,881	68.6	68.6	165	2.7	-0.9	3,935	-7.1	2,359	0.4
6月	16,893	47.4	46.8	164	-0.2	-1.2	4,418	-6.3	2,088	-13.1
7月	16,384	43.0	42.3	203	-1.4	-3.3	4,239	-8.1	2,227	-2.1
8月	11,762	14.6	15.6	151	0.6	-0.8	4,032	-5.0	2,256	-6.6
9月	15,226	-4.2	-3.7	147	2.1	-0.0	4,271	-6.6	2,041	-6.5
10月	11,441	-6.3	-6.7	169	0.2	-2.2	4,032	-9.9	2,318	2.8
11月	12,576	-3.9	0.2	185	4.2	2.5	3,800	-9.2	2,271	-3.2
12月	11,342	-2.3	-2.0	258	0.3	-1.0	4,444	-5.2	2,137	-0.6
25年 1月	13,378	-6.2	-7.4	192	4.6	0.3	3,522	7.4	2,372	0.9
2月	16,941	-7.9	-8.1	143	-0.9	0.7	3,861	-11.7	2,058	14.6
3月	21,468	-13.9	-11.0	176	3.5	4.0	5,051	3.5	2,235	0.3
4月	11,979	2.1	0.7	160	-2.9	-0.4	4,459	1.4	2,509	16.6
5月	12,231	-5.0	-8.7	157	-4.5	2.8	4,194	6.6	2,627	11.3
6月	15,343	-9.2	-12.5	165	1.1	7.5	4,515	2.2	2,331	11.7
7月	15,195	-7.3	-9.7	155	-7.8	-2.2	4,379	3.3	2,638	18.2
8月	11,926	1.4	-1.6	145	-3.6	3.0	4,341	7.7	2,473	9.5
9月	17,366	14.1	18.1	144	-1.4	3.0 p	4,382	2.6 p	2,599	27.3
10月	13,869	21.2	18.4	158	-5.8	p	4,506	111.8 p	2,642	14.0
11月										
12月										
資料	自販連兵庫県支部 兵庫県軽自動車協会			兵庫県百貨店協会		近畿経済 産業局	神戸税関			

* p は速報値 r は確報値

* 百貨店売上高の前年比は店舗調整後

項目 年月	有効求人倍率 (パートを含む)		県下常用労働者数 (30人以上,月末推計)		県下名目賃金指数 (定期給与,30人以上)		消費者物価指数 (22年=100)			
	兵庫県	全国	全産業 (千人)	前年比 %	指数 (22年=100)	前年比 %	神戸市		全国	
							指数	前年比 %	指数	前年比 %
24年 1月	0.65	0.73	1,053	5.2	98.7	-0.2	99.7	0.2	99.6	0.1
2月	0.66	0.75	1,049	5.1	98.9	-0.3	100.1	0.6	99.8	0.3
3月	0.68	0.76	1,043	4.7	100.1	-1.0	100.4	0.7	100.3	0.5
4月	0.68	0.79	1,053	4.4	100.5	-0.3	100.3	0.5	100.4	0.4
5月	0.69	0.81	1,052	4.0	98.8	-0.9	100.2	0.3	100.1	0.2
6月	0.70	0.82	1,051	3.8	100.2	0.1	99.8	0.0	99.6	-0.2
7月	0.70	0.83	1,054	3.8	100.0	-0.1	99.6	0.0	99.3	-0.4
8月	0.69	0.83	1,051	3.9	99.6	0.1	99.9	-0.1	99.4	-0.4
9月	0.68	0.81	1,052	4.4	99.3	-0.5	99.7	-0.5	99.6	-0.3
10月	0.67	0.80	1,047	4.2	99.3	-0.6	99.5	-0.9	99.6	-0.4
11月	0.67	0.80	1,048	4.0	99.8	-1.6	98.9	-0.7	99.2	-0.2
12月	0.67	0.82	1,048	4.0	100.4	0.5	98.9	-0.6	99.3	-0.1
25年 1月	0.71	0.85	1,040	-1.2	99.4	0.7	98.7	-0.9	99.3	-0.3
2月	0.71	0.85	1,035	-0.4	99.8	0.9	98.7	-1.4	99.2	-0.7
3月	0.71	0.86	1,032	-0.2	100.5	0.4	99.1	-1.3	99.4	-0.9
4月	0.74	0.89	1,043	-0.9	101.6	1.1	99.3	-1.0	99.7	-0.7
5月	0.76	0.92	1,047	-0.3	100.7	1.9	99.9	-0.3	99.8	-0.3
6月	0.76	0.92	1,051	0.0	101.1	0.9	100.0	0.2	99.8	0.2
7月	0.76	0.94	1,053	0.0	100.4	0.4	100.1	0.5	100.0	0.7
8月	0.78	0.95	1,050	0.0	100.0	0.4	100.2	0.3	100.3	0.9
9月	0.76	0.95	1,046	-0.5	100.2	0.9	100.5	0.7	100.6	1.1
10月							100.7	1.2		
11月										
12月										
資料	兵庫労働局		兵庫県統計課				兵庫県統計課		総務省	

項目 年月	国内企業物価指数 (H24.5より22年=100)		県下金融機関 貸出金残高		貸出約定 平均金利	県下企業倒産(負債1,000万円以上)				
	全国		金額		全国銀行	件数	金額	地域別倒産件数		
	指数	前年比 %	(各期末)	前年比 %				神戸	阪神	播磨他
24年 1月	100.9	0.3	150,149	-0.9	1.452	56	102	14	19	23
2月	101.1	0.4	149,482	-1.3	1.442	54	173	17	23	14
3月	101.6	0.3	152,152	-1.3	1.428	49	49	15	23	11
4月	101.4	-0.7	150,310	-0.6	1.424	45	128	14	14	17
5月	101.0	-0.9	150,352	-0.3	1.421	45	601	16	18	11
6月	100.4	-1.5	150,636	0.3	1.409	53	97	18	25	10
7月	99.9	-2.3	150,531	-0.1	1.403	62	138	16	28	18
8月	100.1	-2.0	150,189	0.3	1.401	61	41	22	22	17
9月	100.4	-1.5	151,823	0.8	1.385	43	63	15	14	14
10月	100.0	-1.1	149,833	0.1	1.383	52	41	22	11	19
11月	99.9	-1.1	150,053	0.0	1.378	46	48	12	17	17
12月	100.3	-0.7	151,415	-0.1	1.364	57	157	11	19	27
25年 1月	100.5	-0.4	150,340	0.1	1.358	51	65	13	19	19
2月	101.0	-0.1	150,096	0.4	1.346	47	34	9	21	17
3月	101.1	-0.5	152,787	0.4	1.325	47	25	16	15	16
4月	101.5	0.1	150,606	0.2	1.321	45	69	13	18	14
5月	101.6	0.6	150,286	0.0	1.319	48	29	19	20	9
6月	101.6	1.2	151,520	0.6	1.303	34	341	9	9	16
7月	102.2	2.2	150,656	0.1	1.296	38	58	17	7	14
8月	102.4	2.3	151,104	0.6	1.291	42	42	14	14	14
9月	102.6	2.2	152,378	0.4	1.291	54	34	19	10	35
10月	102.5	2.5				49	47	17	11	21
11月										
12月										
資料	日本銀行					(株)東京商工リサーチ 神戸支店				

* p は速報値 r は確報値